

研究主題 主体的・対話的で深い学びを構築する学習指導法の創造
～遠隔合同授業を核とした複式・少人数指導の充実～

研究主題設定までの道のり

平成27年度～平成29年度 文科学委託事業

徳之島型モデルの確立

研究主題の設定まで

「人口減少社会におけるICTの利活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」

「遠隔地間における双方向型の合同学習」により小規模校のデメリットが最小化され、教育水準の維持向上に効果があることを実証する事業

離れていても隣で授業を受けているような安心感があるね



職員間の相互研修や小規模校同士が双方向でつながり合う(直接交流活動)

遠隔合同授業を実証の中心としながら、児童・職員ともに小規模校同士が双方向でつながり合い、1つの大きなバーチャルクラスルームとして高め合っていくスタイル



研究の構想図

【研究主題】「主体的・対話的で深い学びを構築する学習指導法の創造」～遠隔合同授業を核とした複式・少人数指導の充実～



小規模・極小規模校のメリットを生かし、デメリットを少なくする

児童の実態 小規模・極小規模校の課題 保護者の願い

研究の視点

視点1 ・学びある遠隔合同授業ができる～普段の授業や遠隔合同授業の授業改善～

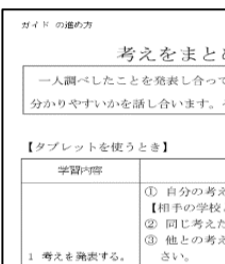
① 遠隔合同授業における協働学習スタイルの確立

問題点を整理・改善し、**確立された学習スタイル**を4校が共有することで、スムーズに学習ができるようになり、児童の思考力や表現力などを高めることができた。



② ガイドの手引きを用いたガイド学習の充実

これまで各学校で使用してきた**ガイド学習の手引き**を持ち寄り、内容を検討・精選して全ての学校で同じものを使用することにした。



③ 指導過程の統一

「**授業充実の3ポイント**（目標の明確化、山場の工夫、確かめ・見届け）」の確実な実践、遠隔合同授業における「**徳之島型モデル**」から遠隔授業の日常化に向けた工夫や複式双方向型指導の授業改善に努めた。



視点2 ・誰でも遠隔合同授業ができる～単純化・簡素化するための工夫や対策～

① 機器操作のマニュアル作成とそれを用いた機器操作の共通理解

「**ICT機器操作マニュアル**」を作成し遠隔合同授業が**誰でも実施できる**ように、マニュアルを用いながら機器の活用方法を学ぶ研修を行うようにした。



② 遠隔合同授業に適した単元の精選とねらいの明確化

多様な考えに触れ、自分の考えと比較しながら理解を深めることができる単元を中心に行っている。細かい授業の打合せはなるべく電子黒板やタブレットを使用して遠隔で行っている。



③ Web会議システムを用いた遠隔合同授業モデルの確立

4校合同研究校でも積極的にWeb会議システムを活用して、それぞれが単学年の授業を担当することでバーチャルクラスルームを作り、**担任の負担軽減ときめ細かな指導を両立**させた。



視点3 ・いつでも遠隔合同授業ができる～日常化に向けた工夫や対策～

① 学習規律の統一・定着

活動の見通しがもてる板書の基本形についても共通理解を図り、構造的な板書ができるようにしている。**精選して板書する**ようにし、文字の大きさや色も考慮している。



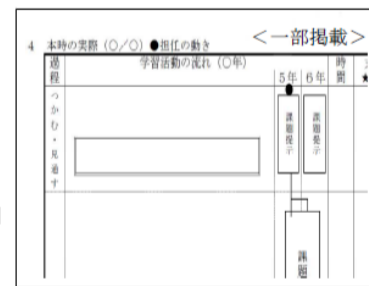
② 校時表（朝の活動）の統一と交流発表の充実

校時表の統一を行い、**朝に交流発表を週1回約20分程度**行っている。細かい打合せについては実施日の近い日にICT機器を使って遠隔で行っている。



③ 打合せの簡略化

打合せを簡略化するため**指導案の形式が共通理解**されており、遠隔合同授業を実施する際は「**授業のねらい**」と「**授業の流れ**」の2つを確認するようになっている。



公開授業および全体会・分科会の様子

	公開授業	分科会	全体会Ⅰ	全体会Ⅱ
母間小				
花徳小				
山小				
手々小				

開会のあいさつ 福教育長

指導講話 大島教育事務所 富田指導課長

研究発表 母間小学校 岩下教諭

閉会のあいさつ 母間小学校 青崎校長

公開研究会に参加された先生方より

- 極小規模校において主体的・対話的な授業を行う上で遠隔授業は、教師・児童にとってメリットが多いと感じた。
- 4月までには一人1台のタブレットがやってくる。これを、授業の中でどのように活用していくか考えていく必要がある。まずは、「使ってみよう」を合言葉に進めてみようと思う。
- この児童たちが中学校に入学してくるので、中学校でもICTの活用を充実させなければならないと感じた。
- 他の学校もたくさんの取組をされていると思う。徳之島町内だけでなく、町外にもその実践を広めてほしい。職員を研修に呼べるようにしてもらい、そのノウハウを学びたい。
- コロナ禍ですますますこのような取組は必要になってくるのではないかと。
- ▲ 画面の向こうの児童生徒たちの考え、様子等を把握するのは難しそうだと感じた。